

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		小・中学校教科書等整備事業		担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	72246	
総合計画	大項目	2 次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1 共に学び成長が実感できるまちづくり		根拠法令 個別計画等	教育基本法第16条					
	小項目	1 「生きる力」を育む学校教育の推進								
	主要プロジェクト									
事業概要		教職員が使用する教科書・指導書・教材を一括購入、また、児童生徒が使用する副読本等を作成して、小・中学校に配付することにより、学校教育の充実を図るものである。								
目的 ※何のために		教職員の教育活動の維持及び授業内容の充実								
対象 ※誰・何を対象に		市内市立小・中学校の児童生徒及び教職員								
手段 ※どのように		教職員への指導書及び教材等の購入と配付								
成果 ※何を求めるか		授業内容の充実								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	2	小学校費	2	教育振興費	小学校教科書等整備事業	4,433,522
		一般会計	10	教育費	3	中学校費	2	教育振興費	中学校教科書等整備事業	557,700
本事業の 主な業務		・教科用図書選定							・	
		・教科用図書選定会議の開催							・	
		・社会科副読本編集委員会の開催							・	
		・社会科副読本の作成							・	
		・教科書用図書給与事務							・	
		・進路副読本の選定							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入	教科書、指導書、教材等の購入副読本等の作成、購入		
事業費	予算(現額)	6,107,000	5,411,000	89,586,000	39,107,000		
	決算額	5,379,561	4,991,222	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	5,379,561	4,991,222	89,586,000	39,107,000		
人件費	従事職員数(人)	0.23	0.33	0.68	0.68		
	人件費相当試算※	1,785,240	2,596,954	5,573,543	5,573,543		
総事業費試算		7,164,801	7,588,176	95,159,543	44,680,543		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	教職員指導書・教材購入数		目標値	冊						
			実績値		124.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により教職員数は変動するため、目標値の設定はしない/当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 2	児童生徒副読本作成種類数		目標値	種類	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績値		3.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			小学 3・4年生用、5・6年生用、中学 1～3年生用の 3 種 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 3	児童生徒副読本配付数道徳読本		目標値	冊						
			実績値		3,308.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			年度により生徒児童数は変動するため、目標値の設定はしない / 当該年度実績						
	実績値の算出式				小 1、小 4、中 1					
成果指標 1	教科用図書、指導書及び社会科副読本を配付した学校数		目標値	校	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00	29.00
			実績値		29.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全小中学校（小学校 19 校、中学校 10 校） / 小・中学校配付校数						
	実績値の算出式				小 3、中 1					
成果指標 2	社会科副読本配付数（概数）		目標値	冊						
			実績値		2,185.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標値の設定はしない / 小・中学校配付数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	教職員用指導書配付率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			配布率 100% を目標値とする / 指導書配付数／小中教職員数						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	小・中学校へ教科用図書・指導書及び社会科副読本を目標どおり配付することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	授業に必要な教職員の教科用図書及び指導書を、100%配付できた。
			評価者 課長補佐兼指導主事 森田 欣也

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	資料のデジタル化を図るとともに、紙での配付を行うことで、双方の良さを活かした活用を進めることができた。
			評価者 課長補佐兼指導主事 森田 欣也

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	小・中学校教科書等整備事業	担当課	学校教育課	担当係	教育指導担当	管理番号	72246
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 次長兼学校教育課長兼指導主事兼教育研究所長 兵頭 一樹					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 3	指標名	児童生徒副読本配付数道徳読本
区分	成果指標 1	指標名	教科用図書、指導書及び社会科副読本を配付した学校数